

防災

西海岸地域で津波避難の取組み

津波避難ビル(西海岸地域)表示板を設置!

現在、伊佐、大山、真志喜地域に、津波発生時における避難ビルとして10カ所が指定されており、このほど11月に津波避難ビル表示板を設置しました。

沿岸地域においては、津波発生から到達までの時間が短い場合、早急に高台に避難することが困難であるため、津波避難ビルへ避難されることも想定されます。そこで建物壁面へ表示板を設置することにより、避難の際に確認できるようになりました。



宜野湾市の津波避難ビル(10カ所)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ① 県営大山高層住宅(大山6-33-1) | ⑥ 大栄マンション(伊佐2-7-11) |
| ② サンセットたくしマンション(伊佐3-17-1) | ⑦ 大栄マンションⅡ(伊佐2-21-13) |
| ③ フラワーキャッスル宜野湾(伊佐3-3-7) | ⑧ シーサイドISA(伊佐3-8-25) |
| ④ フラワーキャッスル大山(大山3-29-14) | ⑨ 伊利原市営住宅A棟(伊佐4-3-14) |
| ⑤ PTCビル(真志喜3-29-1) | ⑩ 伊利原市営住宅B棟(伊佐4-3-15) |

※詳細マップは、宜野湾市ホームページで確認できます。

伊佐区津波避難情報マップを設置しました。

伊佐区自主防災会(宮城奈々子会長)では、自主的にさまざまな防災活動を展開しています。11月に主体的に取り組んで作製した「津波避難情報マップ」を区域内15カ所に設置しました。住宅や店舗の壁面に地図を掲示し、多くの方へ情報提供することが目的です。マップには現在地や海拔の高低差がわかりやすく色分けされており、ひと目で避難場所や経路を確認しやすいように作られています。宮城会長は「万が一のときに、多くの方の役に立てほしい。区民の皆さんの協力を得て設置することができた」と語りました。情報マップ作製は、市の地域づくり推進事業基金の助成事業として取り組みました。



市では今後も自治会やボランティア団体等で構成する自主防災組織への支援・協力を行ってまいります。

問合せ：市民防災室 ☎893-4411 内線319



建設部会
部会長 仲本賢一郎

建設部会は、建築・土木・電気・空調・給排水・造園工事や設計コンサルティング、建設資材販売等に係る企業の集まりで、主な事業は行政に対しての要請活動、入札・指名制度改革勉強会や沖縄防衛局発注工事の入札参加申請の勉強会を実施しております。

また、リフォーム・修繕相談事業では「家が古くなっているが新築をするには予算がない」などの皆さまの悩みをお受けし、専門的知識を生かし提案を行っております。

家のリフォームや修繕をお考えの市民の皆さまは、ぜひ一度ご相談ください。

地域の活性化と発展に
奉仕する商工会 ⑤

宜野湾市商工会
☎ 897-0111
<http://www.ginowan.or.jp>

商工会建設部会の

「リフォーム修繕相談事業」をご存知ですか?

「住宅が長持ちするリフォームをしたい!」「バリアフリーにしたいけど、どこに相談したらいいの?」そんな悩みをお持ちの方はぜひご相談ください。

相談日 毎月第2・4木曜日 午後1時30分～3時30分

相談を無料で行っています。

相談日の3日前までにお申し込みください。(担当:新垣)

